



みよ足立嶺に雲は湧き、
玄海の浪 咆哮るとき、
若き血潮の高なりて
遙けき天へ 羽鼓かむ
翔ろよ吾等が 小倉西

若人の歌、西高の応援歌です。
皆様にエールが届きますように。
早く平穏な時間が戻りますように。



発行
福岡県立小倉西高等学校
津苑会
小倉北区下町津5丁目7-1
TEL 093-581-9387

口頃より同窓会活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。
この1年は「コロナ」に振りまわされた1年となりました。自粛が続く、先の見えない毎日でした。同窓会会員の皆様もまだまだ不安を抱えておられることと思っております。また、生活に影響を受けられている皆様には心よりお見舞いを申し上げます。同窓会のご存知のように昨年は本部総会開催を断念、昨年当番期48期は志半ばでの総会中止を余儀なくされました。また各支部の総会も全て中止となりました。
母校、小倉西高校も例外ではありません。行事や部活動は縮小や中止が相次ぎ、本来であればもっと伸び伸びと学校生活を送れるはずであった西高生の皆さんも窮屈な思いの毎日を送っているかと思うと、大変胸が痛みます。ようやく進んできたクチン接種ですが、感染拡大の先行きが少し見えてくることを期待して止みません。
今年度の総会は、例年開催の6月に、ただし規模を縮小して米寿喜寿のお祝いと総会議事のみ感染対策万全の上、人数制限をして飲食をせずにおこなう予定でした。



津苑会会長
あいさつ
神崎 大

しかしながらコロナ変異株の影響によりとみられる感染拡大が続き、5月12日、福岡県に緊急事態宣言が発令されました。このような状況下での開催は、ご出席の皆様を安全確保できないと判断、断腸の思いで中止を決議致しました。
昨年引き続き、総会誌につきましてはは無事に発行させて頂きました。総会中止にも関わらず、多くの皆様にご理解いただき、広告掲載のご協力を頂きましたこと、この場をお借りして、御礼申し上げます。
またコロナ禍で大変な中、総会の開催準備に奔走してくれた高校49期の皆さんにもお礼を申し上げます。
改めて米寿・喜寿を迎えられる皆様、おめでとうございます。今年度も総会の会場で参加の卒業生の皆様と共に祝いができます。とても残念な思いです。
次年度こそは皆様と総会でお会いできることを願って止みません。
どうぞ、ますますお元気で過ごしてください。
さて、津苑会は、昨年度より津苑会賛助金制度・西高サポーター制度という2つの制度を始めました。
会員の皆様のお陰で1988年に創立90周年事業として津苑会館が設立され津苑会会員及び西高生のために広く利用されています。2018年には創立100周年事業が滞りなく終了しました。会員の皆様のご支援には深く感謝を致しております。伝統ある我が校ですが、今後の津苑会運営は厳しい時代へ入ってまいります。少子化が進み、在校時のみに頼っていた津苑会費のみでの運営では、多くの卒業生や組織運営の支援に力不足を感じるようになってまいりました。そこで新たに津苑会の運営支援

のために、「津苑会賛助金制度」を設立いたしました。また、在校生に対して「西高サポーター制度」を設立し、よりよい教育環境で現代社会にマッチした人材を育成できるよう、さまざまな活動支援を津苑会より定期的におこなうことになりました。趣旨をご理解の上、温かいご支援をどうぞ宜しくお願いいたします。
最後にありますが、いつも同窓会活動にご協力いただきありがとうございます丸内校長先生をはじめ、学校関係者の皆様に感謝を申し上げますと共に、さらなる母校の発展を祈念いたします。
会員の皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。

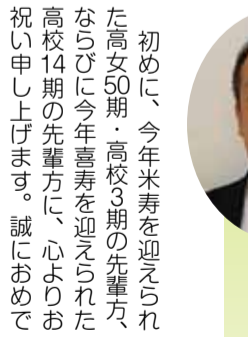


名誉会長
あいさつ
校長 丸内 毅

津苑会の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に引き続き総会の開催を断念されましたこと、同窓生の皆様の安全と健康を第一に考えた末の苦渋のご決断であったと拝察いたします。とりわけ総会に向けて早くから準備に取り組んでこられたこと、高校49期の津苑会総会実行委員長の田中和将様をはじめ、実行委員の皆様のごこれまでのご労苦に深甚なる敬意を表する次第であります。
さて、津苑会の皆様には、平素より本校教育活動に物心両面からのご支援を賜り、深く感謝申し上げます。私、この度の人事異動により、本校第38代校長として着任いたしました丸内でございます。創立123年目を迎える小倉西高校の輝かしい歴史と伝統の重みを感じ、そ

の職責の重さに身の引き締まる思いであります。本校発展のため、微力ではございますが精一杯務めさせていただきますので、何卒よろしく願っています。
4月6日の始業式の際、生徒たちにも伝えましたが、今日、我が国を取り巻く社会情勢は、グローバル化の著しい進展により、一つの国だけでは解決できない問題、例えば感染症や環境問題、貧困や紛争、エネルギー資源問題など、地球規模の課題が山積し、一層不安定さを増しています。特に感染症は、世界のどこで発生しても瞬時に世界中に広がるのが、新型コロナウイルスによつて証明されました。すでに我が国では、こうした課題の解決に貢献するための、積極的に各国研究機関への人的支援に努めておりますが、残念ながら人材不足であることは否めない事実であります。今、この現状を打破し、我が国が持続的な発展を遂げるためには、高等学校段階から国際的な社会課題に対する深い教養と「コミュニケーション力、科学的思考、吟味する力、更には探究力」といった問題解決力の素養を育まなければならないと言われております。本校といたしまして、生徒一人一人に「自立した人間として主体的に社会と関わり、次代を担う若者として我が国の発展に寄与できる力」を養っていかねばなりません。我々教職員一同もさらなる研鑽を積み、来るべき社会を逞しく生き抜いていく西高生を育成できるように、より質の高い教育を提供して参ります。
ここで、母校生徒の進路状況について報告させていただきます。今年3月に卒業した73期生については、新型コロナウイルス感染症予防のため、年度当初から安全志向が高く、指定校である関西大学や同志社大学等の私立大学に進学する傾向が見られました。そのような中、国立大学には九州大学1名、熊本大学1名、九州工業大学6名、北九州市立大学20名など47名が合格いたしました。72期生の九州大学1名、九州歯科大学1名など5名の合格者を加え、52名の生徒が進学しております。また、部活動でも輝かしい成

績を残しており、体育部では卓球部が九州大会への出場を果たし、卓球部、バドミントン部、ハンドボール部が県大会に出場いたしました。文化部においても将棋部が全国大会への切符を手にし、写真部、吹奏楽部が九州大会に出場するとともに、写真部、書道部、吹奏楽部、アート部が県大会に出場するなど、活動を結んでおります。最後にありますが、津苑会の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご出席の皆様のご活躍を祈念いたします。ご挨拶とさせていただきます。



当番期実行委員長あいさつ
高校49期
田中 和将

世界中が、新型コロナウイルスで激変し、多くの人が生活での自粛を余儀なくされ、人との接触を避けなければならぬ、この1年間で何もかも変わってしまった。
しかし、クチン接種が始まり、少しずつですが、希望の光が見えてきていると思えます。人生の中で、良くも悪くもこれ以上の大変なことはないと思える、最も忘れられない出来事です。コロナ禍で津苑会総会実行委員長として大役を務めて、この1年間で大きく成長できたと感じます。
総会準備にご協力いただきました津苑会役員や事務局の方々、小倉西高等学校関係者の皆様、協賛広告に御出稿頂きました方々、たくさんの先輩、後輩の方々、同期の皆さん、当番期を代表して心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。
最後に、津苑会ならびに小倉西高等学校の益々のご発展、津苑会会員の皆様のご健勝と御多幸を祈念致しまして、当番期実行委員長の挨拶とさせていただきます。

津苑会館よりおながい
新型コロナウイルス感染症防止のため当面の間、お急ぎのご用件以外のご来館はなるべくお控えいただけますようお願いいたします。

支部だより

東京支部



東京支部長 川口 京子 (高校22期)

津苑会同窓会の皆様、お元気で過ごして下さいますか。2020年新型コロナウイルスが日本中に蔓延し、私たちの今迄の日常は一変してしま...

企画委員が毎年開催する春のお花見・秋のBBQ・ゴルフコンペも来年こそ戻すことを願っています。都内に点在する花見スポットや博物館・ミュージアム等々堪能した後は...



秋のイベント「柴又散策と真さんミュージアム」の集合写真 (2016/10/22)

関西支部



関西支部長 高橋 輝久 (高校18期)

皆さま、コロナ禍の中いかがお過ごしでしょうか。ワクチンが始まりましたが、全ての人に行き渡るまでまだまだ時間がかかりそうです...

このご挨拶を書いている時まだ、緊急事態宣言中。この春、関西は新型コロナウイルスの感染爆発で医療体制も逼迫し、厳しい時間を過ごしました。

実は、昨年春に関西支部で一番頼りにしている後輩が病に倒れました。長い入院・リハビリを終え、通動し始めたとお聞きし、ほっとしたと同時に、私自身が健康の大切さを改めて思い知らされました。



福岡支部



福岡支部長 宗 聡 (高校31期)

福岡支部よりご挨拶をさせていただきます。はじめに、コロナに罹患された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

そこで、今後は2つのご実現できたらと考えております。1つは、人生100年と言われる時代にあわしい同窓会を目指して参れらると思っております。



福岡支部 令和2年 新年会

内田百音様より学校へ書作が寄贈されました



書家・画家として活躍されている高校30期の内田百音(石井美加子)様が学校に作品を寄贈されました。校訓「強く」「正しく」「美はしく」の3点です。



<内田百音さんプロフィール> 3才より毛筆と音楽教育を受ける。中、高は美術部に所属し油絵を学ぶ。百音書道・絵画教室 主宰(東京 田園調布) 全国水墨画美術協会 評議員。

令和3年度 津苑会事務局だより

令和2年度津苑会総会は新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。令和3年度総会当番期(高校49期)の皆さんは、昨年総会が中止となり、今年度も先が見えない中、総会準備をおこないましたが、変異ウイルスによる感染拡大により残念ながら今年度も総会が中止となりました。

- 1) 寄付・寄贈(令和2年6月) 令和2年度総会当番期(高校48期)から寄付及び寄贈がありました。
2) 津苑会からのお願い 「津苑会賛助金制度」「西高サポーター制度」を始めました。
(津苑会館の感染対策) 1. 体温測定器の設置 2. アルコール消毒液の設置 3. パーテーションの設置

津苑同友会のご案内

津苑同友会は会員の異業種交流を行うことにより、縦のつながりを発展させ、会員相互の親睦・研鑽を図り、地域経済と母校の発展に寄与することを目的として、総会をはじめ、研修会、交流会、ゴルフコンペ等を開催しています。

令和3年度 津苑会役員改選(案)

Table with columns for Position, Name, Graduation Year, and Status. Includes roles like 会長, 副会長, 会計監査, 特別顧問, and 退任.

津苑会賞 section featuring a photo of award recipients and text describing the award ceremony and the reasons for the award.

学食探訪記

春のある日、お昼休み前の学食におじゃましました。ソーシャルディスタンスを保つために座席数は半分に減っています。



渡り廊下を歩いて学食へ



手指を消毒して食堂の中へ



ディスタンスを保って食べましょう。



日替りの瓦そばは大人気



食べ盛りの生徒のお腹を満たすため、どのメニューもボリュームたっぷり！



スタッフの皆さん、いつもおいしい昼食をつくってくださり、ありがとうございます。



みんな一度は食べたかな？(素)うどん



すべてのメニューが使い捨て容器で提供されています。今は、うどん以外は教室に持ち帰りしています。



ボリュームたっぷり唐揚げ丼&牛丼



今日の日替りはチキン南蛮



パンもあります。

日替りは早いもの勝ち!!

未来へつなごう！ 津苑会は「津苑会賛助金制度」「西高サポーター制度」を新設しました

みなさまには日頃から津苑会の活動および小倉西高校の発展に、ご理解ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

この度、津苑会では2つの制度を始めることになりました。これからの津苑会活動および120年を超える伝統ある母校支援のために、ご協力をお願い申し上げます。

なお、両制度は津苑会役員と会長により任命を受けた津苑会の会員で構成される基金運営委員会により管理・運営を行い、基金運用内容は津苑会総会で報告を行うものといたします。

津苑会賛助金制度とは？

これまで津苑会は、高校在学時に収める津苑会会費を主な資金として活動してきましたが、少子化が進むなか、会費収入が減少し、将来的に運営が厳しくなることが予想されます。今後の津苑会の運営、支部支援、周年行事支援等を円滑に行うために設けた制度です。会員のみなさまのご理解ご協力をお願いいたします。

西高サポーター制度とは？

学校経営も厳しくなる昨今、小倉西高校の在校生を支援する制度です。学習面や部活動のみならず、講演会や職場体験等、さまざまな体験を通して現代社会にマッチした人材を小倉西高校から輩出するため、会員のみなさまに支援金を募ります。

賛助金制度・サポーター制度とも、一口2,000円からお申し込みください。(両制度、毎年何回でもお申込みいただけます。) お申し込み方法は津苑会事務局までお問い合わせください。 ※御希望の方は、専用の振込用紙をお送りしますので遠慮なくご連絡ください。

払込先：ゆうちょ 記号 01770-5 番号 152256 福岡県立小倉西高等学校 津苑会

令和2年度 寄付実績のご報告

令和2年度にいただきました寄付について報告いたします。みなさまの深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます。

令和3年3月31日 現在

津苑会賛助金	西高サポーター	寄付合計額
603,000	657,827	1,260,827

*サポーターに旧母校支援金 102,827円を含む

令和2年度	ご寄付いただいたみなさま (敬称略)	R3.3.31迄
高女46期	渡邊 常子	高校7期 平野 法子
高女47期	竹下巳代子	高校7期 森 勝
高女47期	笠井サダ子	高校7期 吉原 巖
高女47期	石塚智津子	高校7期 富士井道子
高女47期	徳田 欣子	高校7期 弘中 文子
高女47期	日野 英子	高校7期 中村 岩子
高女48期	原口ユキエ	高校7期 佐藤 玲子
高女48期	多田 隼	高校7期 白島 次郎
高女49期	月原 千恵	高校8期 瀧上 良生
高女49期	岩永 英子	高校10期 伊藤 源二
高女49期	山口 立子	高校11期 橋本寿志郎
高女51期	原田トシ子	高校15期 角丸 澄子
高女51期	山本美智子	高校15期 綾部奈那美
高女51期	時枝マサエ	高校15期 吉田 秀子
高女51期	黒田奈保美	高校15期 沓内 忠雄
高女51期	石田彌栄	高校15期 塩田 孝一
高女51期	柴田 浩子	高校15期 岡 一昭
高女51期	庄野 幸子	高校15期 中村 博之
高校4期	雨川 哲也	高校15期 吉永 昌子
高校4期	勝田 哲	高校17期 河野 豊樹
高校4期	崎高 匡承	高校17期 塩田 孝
高校4期	中居 俊明	高校17期 清水 誠規
高校6期	近藤 仁善	高校20期 村上 充生
高校6期	永留 慶造	高校21期 東 貞四郎
高校6期	八坂 修市	高校21期 粟生 信次
高校7期	鮎川 一	高校21期 野口美津江
高校7期	井上 譲二	高校21期 品川 達男
高校7期	塩田 道子	高校21期 今宮真美子
高校7期	川村 創	高校21期 福田 豊
高校7期	佐々木愛子	高校21期 藤島 隆志
高校7期	権藤 研一	高校22期 石橋 恵子
高校7期	沢口 俊喜	高校22期 森 義雄
高校7期	白川 徹子	高校23期 熊野 一雄
		高校25期 田中 本晃
		高校25期 塚内 茂喜
		高校26期 藤田 卓也
		高校29期 田村 茂彦
		高校30期 永田 淳三
		高校31期 神崎 大
		高校31期 宗 聡
		高校31期 大橋 敦子
		高校32期 進 明子
		高校32期 高橋 辰夫
		高校34期 末次 智子
		高校34期 大穂 孝子
		高校34期 中井 謙治
		高校36期 金丸 勝利
		高校39期 吉村 賢治
		高校40期 松永 由紀
		高校40期 江頭 亮
		高校40期 高松 秀俊
		高校40期 松永 浩
		高校40期 眞鍋 和博
		高校41期 阿部 信行
		高校41期 井上 康司
		高校42期 鬼塚 陽子
		高校42期 浦井 賢一
		高校42期 大村 明子
		高校42期 松尾 光
		高校42期 霞田 圭一
		高校42期 高田 美絵
		高校42期 鶴崎 知子
		高校44期 鬼塚 直江
		高校44期 福田 智宏
		高校44期 矢野 宏之
		高校45期 園田 和臣
		高校45期 福島 智明
		高校45期 古賀 裕子
		高校48期 野中 徹平
		高校46期 (団体) 代表 別府 統務
		職員 和田 宏二 (事務長)